

# 瀬戸内海漁業基本調査<sup>※</sup>

堀 木 信 男

## 目 的

紀伊水道における小型エビ類およびシャコ類資源の動態と小型底びき網漁業による利用状況を把握し、これら資源の有効利用計画作成のための資源生物学的基礎資料をうることを目的とする。

## 方 法

原則として毎月1回、雑賀崎漁業協同組合所属の小型底びき網漁船に漁獲される小型エビ類およびシャコ類の全部（ただし、漁獲量が多い場合は一部）を採取して、種類別の総尾数および総重量を計測し、サルエビ、アカエビ、トラエビ、キシエビ、シャコ類については雌雄別に体長測定を実施した。

## 結 果

調査は、4、5、6、7、8、9、10、11、12、1、3月の11回実施し、回次海に所定の調査表にとりまとめ、南西海区水産研究所（内海資源部）に報告した。

なお、結果は「昭和60年度瀬戸内海水産資源担当者会議議事要録」（昭和61年3月、南西海区水産研究所）に収録されている。

---

※ 漁業資源調査費による。